

## 公表 事業所における自己評価結果

(別紙5)

事業所名	放課後等デイサービス事業所 みらいの里ミント	公表日	2025年12月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・安全に活動できるように内容ごとに部屋を分けていて環境を整えている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・基準の職員配置となっている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・お知らせの張り紙などを活用し、必要な情報を伝達できていると思う。	・提示物の他にもいろいろな物が貼られており整理する部分も必要と思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・利用者の部屋が区切られておりパーテーション等を使えることができ日々のために利用できることに工夫している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・相談室や仕事エリアを活用している。 ・個別の部屋を体調不良又はクールダウンの対応として個別に対応できる。	・構造化されており使いやすいが、完全個室がないため集中できる、クールダウンできる空間があると尚良いと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・会議やアンケートを取っている。 ・職員会議等意見を出し合い業務改善につなげている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年、実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・会議や引継ぎ時に意見交換している。 ・いつでもスタッフ間でのコミュニケーションを出し合ったり、意見交換できる環境である。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・オンブズマンに依頼している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・職員研修等行ない支援に関する情報交換をしスキルアップにつなげている。	・もっと研修の機会を増やしていく必要がある。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページで公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・保護者から要望を聞いて作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・モニタリング会議へ職員が参加し、話し合ってから計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・職員間で共有し、支援を行っている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・フォーマルなものとして理解のアセスメントを実施している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・日ごとに担当スタッフを割り振っている。 行事の係や各担当スタッフの意見も取り入れながら作成している。	

支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	・職員間でアイデアを出し合い、子供が取り組みやすい内容が組み込まれている。また固定化しないように考慮している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	・実施している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	・実施している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・翌日実施している。その日の振り返りは必ずではないが、その日の気づいた点など、職員間の情報共有がきちんとされている。 ・全スタッフが共有できるように申し送りやノート、口頭ファイルなどを活用している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・利用時には必ずケース記録を残している。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的なモニタリングを実施している。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		・実施している。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・自立度に応じて選択の機会をもっと増やしてもいいと思う。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・主に児発管が参画している。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・状況に応じて、学校と情報共有している。 子どもの状況や必要に応じて連携を図っているが、定期的に学校との情報共有できる場があれば支援の方向性などについて意識しやすいと思う。
関係機関や保護者との連携	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・概ね出来ている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	・情報共有できていない事があるので、今後情報共有していく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	・必要に応じて行っている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	・あまり出来ていないため、今後検討していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	6	・交流する機会はあまりない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	・参加していない。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時等に伝えている。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	・あまり実施できていない。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・利用契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・主に保護者から要望を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・必要に応じて相談を受けている。	・職員のスキルアップが必要。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		・保護者会は組織されていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・体制は整備されている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・2ヶ月に一度広報誌を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・子どもの情報、活動報告のために個人の物に保存しないことを徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・必要に応じて、絵や文字などを使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・地域との交流は少ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・マニュアルは作成している。訓練も実施している。	・保護者への周知が不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPは作成しており、定期的な訓練を行い安全な活動へ務めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・利用契約時等に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・契約時にアレルギーの有無を確認し全スタッフが確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・送迎時、車内の児童の見落し、所在確認、安全管理に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			・安全計画は作成しているが、保護者への周知は不十分。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・会議や引継ぎ時に話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・毎年、虐待防止の研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・支援計画に記載し、保護者からの同意を得ている。	